



普通高等教育“十五”国家级规划教材

新大学日语

听力与会话

总主编 陈俊森
主 编 侯仁锋
副主编 徐 曙

2



高等教育出版社



普通高等教育“十五”国家级规划教材

新大学日语

听力与会话

总主编 陈俊森

主 编 侯仁锋

副主编 徐 曙

编 者 吉田歌织

薛红玲

沙黍程



高等教育出版社

图书在版编目(CIP)数据

新大学日语听力与会话. 2/侯仁锋主编. —北京:
高等教育出版社, 2003. 6
ISBN 7-04-012143-3

I. 新… II. 侯… III. 日语-听说教学-高等学
校-教材 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2003)第 026680 号

出版发行	高等教育出版社	购书热线	010-64054588
社 址	北京市西城区德外大街 4 号	免费咨询	800-810-0598
邮政编码	100011	网 址	http://www.hep.edu.cn
总 机	010-82028899		http://www.hep.com.cn
经 销	新华书店北京发行所		
印 刷	北京人卫印刷厂		
开 本	850×1168 1/16	版 次	2003 年 6 月第 1 版
印 张	11.5	印 次	2003 年 12 月第 2 次印刷
字 数	300 000	定 价	25.20 元(含光盘)

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题,请到所购图书销售部门联系调换。

版权所有 侵权必究

《新大学日语》系列教材编写委员会

陈俊森 顾明耀 祝大明 翟东娜 赵刚

陈百海 吴侃 侯仁锋 徐曙 陈薇

- 顾问 北原保雄 (日本筑波大学 校长 教授)
顾明耀 (西安交通大学、日本广岛女子大学 教授)
西村よしみ (日本筑波大学 教授)
砂川有里子 (日本筑波大学 教授)
山田泉 (日本大阪大学 教授)
- 主审 田忠魁 (黑龙江大学 教授)
- 总主编 陈俊森 (华中科技大学 教授)
- 总策划 祝大明 (高等教育出版社 编审)
- 各册主编 翟东娜 (北京师范大学 教授)
赵刚 (西安交通大学 教授)
陈百海 (黑龙江大学 教授)
吴侃 (同济大学 教授)
侯仁锋 (第四军医大学 教授)
徐曙 (同济大学 副教授)

前 言

一、编写背景

《大学日语教学大纲》1989年出版后对我国的大学日语教育起到了积极的指导作用和推动作用,至今已10余年。高等学校大学外语教学指导委员会日语组在总结了10余年来执行该大纲的经验之后,对其词汇表作了全面的修订,同时对正文和附表中的个别叙述也作了适当的调整。修订后的《大学日语教学大纲》(第二版)已于2000年4月经教育部批准颁发,并开始执行。

按照原《大学日语教学大纲》编写的《大学日语》系列教材(顾明耀、徐祖琼主编),在贯彻执行《大学日语教学大纲》,提高大学日语教学水平,推动我国大学日语教育事业方面发挥了重大作用,并受到全国广大日语教师和同学的普遍欢迎。随着《大学日语教学大纲》(第二版)的颁布,中国的大学日语教学改革也迈上了一个新的台阶。新的世纪呼唤着新的教材,教学改革也要求有新的教材与之配合。为此高等学校大学外语教学指导委员会日语组决定,组织全国重点大学的专家教授和具有广泛代表性的院校的优秀教师,编写新的大学日语教材。《新大学日语》系列教材就是在这种形势下诞生的。

本系列教材被列为教育部普通高等教育“十五”国家级规划教材。

本系列教材在编写设计之前,广泛、认真地听取了全国诸多院校师生的意见,尤其是长期使用《大学日语》教材教师的意见,并于2000年全国大学日语教学研讨会上,在宣传贯彻新大纲的同时,组织各地代表对新教材的编写方案进行了认真的研讨。概括起来,与会教师对新教材提出了以下希望和建议:在培养日语交际能力方面要有所创新;在难度和分量上要有所控制,不宜超过中级程度;素材要有时代感、趣味性、实用性;考虑到当前外语教学课时减少的现状,阅读量可适当减少;在教材的构成上,读写与听说最好分开成册,听说内容应有所增加;教材应与大学日语四级考试密切配合,同时照顾其他各类日语考试;单词的释义使用日语,以培养学生用日语思考的能力;在版式设计、图片使用、印刷、用纸等方面,要上档次,有美感等等。对这些好的建议,我们在编写这套教材时都尽量予以考虑。

二、编写原则

1. 充分体现《大学日语教学大纲》(第二版)的精神和要求,既强调打好基础,又重视语言运用能力的培养;既考虑教材的实用性,也充分考虑到素质教育的需要;
2. 在充分吸收《大学日语》教材好的编写经验的基础上,采纳国内外新的外语教学理论,力求做到内容一新、结构一新、设计一新;
3. 语言知识的学习重点放在词汇与句型上,语言运用能力的培养以大纲中的“功能意念表”和“语言技能表”为主;

4. 选择、编写纯正、地道的日语文章、例句，同时注意文字优美、风格多样；
5. 既注重日本社会、文化背景，也注重中国社会、文化背景，同时考虑国际文化的大视野；
6. 在注意与大学日语四级考试关联密切的同时，还注意与其他各类日语考试的关联；
7. 为教师和学习者着想，在编写教材的同时，编写出简明、实用的教学参考书。并注意使本教材既作为大学日语的主干教材，也能兼顾其他学习者的学习需求。

三、教材构成

本套教材共 10 册，其构成如下：

新大学日语 阅读与写作 1~4；

新大学日语 阅读与写作教学参考书 1(1、2 册合订本)、2(3、4 册合订本)；

新大学日语 听力与会话 1、2；

新大学日语 听力与会话教学参考书 1、2。

《阅读与写作》每册由 10 课组成，教学时间为 40~44 学时。每课由课文、生词、注释、词语用法、表达与句型、练习、阅读 7 部分构成。课文的题材广泛，体裁多样，既有反映时代脉搏的文章，也有传统文化的佳作；既有年轻人感兴趣的话题，也有思想内涵丰富的作品。每课的阅读部分配有两篇短文，内容大多与课文有所关联。每册教材安排了 3 个附录：附录 1 为两套自测题，难度与本册相当，题型与大学日语四级考试有相当的关联性。附录 2 为总词汇表、词语用法和表达与句型索引。附录 3 为两首日文歌曲。

《阅读与写作教学参考书》对应于各册教材，每册主要内容有：教学重点与学时分配、课文内容提要、背景知识、“词语用法”例句翻译与注释、“表达与句型”例句翻译与注释、语法学习、近义词辨析、近义表达方式、篇章法指导、写作指导、练习答案、课文及阅读材料译文。

《听力与会话》每册由 15 课组成，教学时间为两学期共 40~44 学时。每课分为 4 个部分。Part 1 有听音跟读和听简短会话，这部分以训练大纲规定的听说技能为主。Part 2 安排一篇 10~15 句左右的会话，会话内容均根据《阅读与写作》的课文或阅读文编写而成，通过内容、词汇、句型的关联，提高口语表达的熟练程度。Part 3 分为两个部分：第一部分是 10 个较短的会话，每段会话为一道题，要求听会话回答问题或复述内容；第二部分是一段较长的会话，配有 3~4 道题。这部分除了训练听说技能之外，更着力于大纲所要求的交际能力的培养，因而对大纲规定的功能、意念项目作了全面的安排。Part 4 是一篇几百字的会话，要求听录音填空或做笔记，写出大意后，口头讲述大意，Part 4 是听说的综合训练。每册教材后附有两套自测题和总词汇表。自测题难度与本册相当，题型与大学日语四级考试有相当的关联性。

《听力与会话教学参考书》也分别对应于各册教材，每册的主要内容有：听力指导、会话指导、听力材料、语法与注释、答案等。

四、致 谢

为了保证本套教材的编写质量，我们特聘请原大学外语教学指导委员会副主任委员、西安交通大

学教授兼广岛女子大学教授顾明耀为中方顾问，聘请日本筑波大学校长、著名语言学家北原保雄教授以及筑波大学西村よしみ教授、砂川有里子教授、大阪大学山田泉教授为日方顾问，聘请原大学外语教学指导委员会委员、日语组副组长、黑龙江大学田忠魁教授为主审。顾明耀教授在百忙之中对设计思想、编写大纲以及编写过程中的细节问题都给予了细致的指导和无私的帮助；北原保雄教授亲自为教材撰写课文，使教材生辉；西村よしみ教授、砂川有里子教授、山田泉教授对教材、教参中的日文部分仔细审阅，提出了宝贵的修改意见，同时对教材编写的宏观问题也提出了不少建设性的意见。田忠魁教授在对各册教材进行总体把关和审查的同时还对许多细节提出了积极的建议。各位顾问和主审的辛勤工作在这套教材中结下了丰硕的成果，在此对他们为我国大学日语教育所做的贡献表示衷心的感谢。

本套教材在设计和编写过程中，得到许多高等院校教师和领导的帮助和指导，许多教师为教材提出了很好的意见和建议。初稿完成后，曾多次征求有关院校教师的意见，并得到了他们的帮助和支持，谨表示衷心的感谢。

在教材编写过程中，我们与每篇文章的原作者和出版社都进行了联系。对授予我们版权使用权的作者和出版社，谨表示衷心的感谢。

日本国际交流基金会对本教材的编写、出版给予了大力的支持与帮助，并提供了“日语教材制作助成”项目的资助，谨表示衷心的感谢。日本国际文化フォーラム在著作权等方面予以很大的帮助和支持。

高等教育出版社的编辑们在教材的策划、编写、版式设计、插图选配等方面做了大量工作，谨表示衷心的感谢。

日语教材的编写是一项系统工程，是一项很重要的科研活动，个中艰辛只有编写过教材的教师才能有所体会。虽然我们竭尽全力，希望编出一套令老师和学生都满意的好教材，但是还存在一些不尽如人意的地方，希望使用本教材的老师和同学提出批评意见，以便我们不断修订完善。

《新大学日语》系列教材编写委员会

2002年11月

使用说明

《新大学日语 听力与会话》是为以日语为第一外语的大学本科学生编写的，也可作为具有初步日语能力的学习者提高听解能力和口语交际能力的教材和自学课本。

本教材以功能交际法为基本教学指导思想，将《大学日语教学大纲》(第二版)中所规定的功能意念项目贯穿到本书的各个典型的听说场景中，同时给出了相关的表达方式及其指导。本书还以复习、整理为主线，以期帮助同学将以前所学的知识系统起来，达到巩固、提高的目的。

本教材的特色是：高度地涵盖了《大学日语教学大纲》所规定的内容，同时尽量引入现代生活中必须掌握的词语，内容新颖，自然活泼，实用性强，循序渐进，难易度适中，听解形式多样，图文并茂，并与相关考试接轨。相信使用后会有耳目一新的感觉。

本教材包括两册学生用书和两册教学参考书。每册由 15 课组成，教学时间以两学期 40~44 学时为宜。

每课分为 4 个部分(Part1~Part4)：

Part 1 为听音跟读(第一册)和听简短会话。

听音跟读要求仔细听辨，反复跟读，掌握日语的语音语调、节奏、语流音变(约音及语音脱落)。听简短会话的目的是培养听说技能。在学习过程中，学生应尽量背下与功能意念相关的表述形式，进而创造性地回答其后的问题。

Part 2 为一篇 10~15 句左右的会话。

会话均系根据《新大学日语 阅读与写作》的课文或阅读文章编写而成，其内容基本相同，词汇、句型基本相关，在练熟会话的基础上，回答其后的问题。同时也可扩展内容，采用提问及回答的形式，提高口语表达的熟练程度。

Part 3 为听解 10 个较短的会话和一个较长的会话。

较短的会话只设 1 问，较长的会话设 3~4 问，听完后从选择项中选出一个最佳答案。题型与国内外同类考试接轨，与大学日语四级考试一致。听解前可预览选择项，做到心中有数，听解中可边听边记要点，以备选择参考。

Part 4 为听会话填空和归纳转述大意(第二册)。

听会话填空，有的只需选择，有的则要根据听到的内容填写，测试点多为数字、外来语、汉字词或短句。本部分旨在培养捕捉主要信息的能力，掌握相关表达，并锻炼短期记忆能力。

归纳转述大意是听一篇 300 字左右的短文，要求边听边记，听完后写出这篇短文的 3~4 个关键词，然后根据提示，归纳大意、口头转述。



本册最后还附有两套听解模拟试题，题型、题量均与大学日语四级考试相同，难度也相当。学完本书，完成这两套模拟试题，大致可测出自己的听解水平，对参加大学日语四级考试和其它相关日语考试会大有裨益。

本册出现的词汇总量为 954 个词。大学日语四级词汇标有“*”号，要求必须掌握。词的释义一般只限于常用的及本课中出现的词义。每个词后以数码式标出声调类型。

教材中的重要语法点标有“*”号，注释见“教学参考书”。语法注释以介绍用法为主，一般不列出译文。

会话提问的解答和大意归纳给出的范文(见教学参考书)仅作为参考，不要求同学所用的词汇或表达形式完全与范文一致。

本教材与《新大学日语 阅读与写作》配套，相辅相成，系统性强，一并使用时，宜先上《新大学日语 阅读与写作》，再学本书，但也不妨独立使用。

本教材的录音是由原中国国际广播电台日本专家坂东弘美女士与和田广幸先生共同录制，发音清晰、标准，语调流畅、准确、自然，通过跟读、听说，相信对掌握好日语的语音语调将会有很大帮助。

希望本套教材能成为广大学生和日语学习者提高听说能力的良师益友。

目 录



第1課

郵便局で小包を送る

Part 1 — 1

Part 2 — 2

Part 3 — 4

Part 4 — 6



第2課

スケジュールの打ち合わせ

Part 1 — 9

Part 2 — 10

Part 3 — 11

Part 4 — 14



第3課

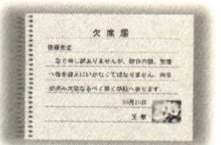
上野公園で花見をする

Part 1 — 18

Part 2 — 19

Part 3 — 21

Part 4 — 23



第4課

授業の欠席届

Part 1 — 27

Part 2 — 28

Part 3 — 29

Part 4 — 32



第5課

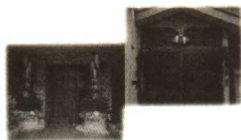
論文の書き方

Part 1 — 36

Part 2 — 37

Part 3 — 38

Part 4 — 41



第6課

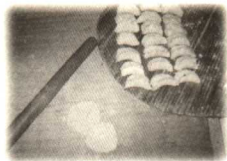
年始の挨拶

Part 1 — 46

Part 2 — 47

Part 3 — 48

Part 4 — 51



第7課

ギョーザを作る

Part 1 — 55

Part 2 — 56

Part 3 — 57

Part 4 — 60



第8課

夏休みの計画

Part 1 — 64

Part 2 — 65

Part 3 — 66

Part 4 — 69



第9課

飛行機の切符の予約

Part 1 — 74

Part 2 — 75

Part 3 — 77

Part 4 — 80

第 10 課

映画について語り合う

Part 1 — 84

Part 2 — 85

Part 3 — 86

Part 4 — 89



第 11 課

青春 18 切符の上手な利用方法

Part 1 — 94

Part 2 — 95

Part 3 — 96

Part 4 — 99



第 12 課

コンパの司会

Part 1 — 103

Part 2 — 105

Part 3 — 106

Part 4 — 109



第 13 課

さよならパーティーでの挨拶

Part 1 — 113

Part 2 — 115

Part 3 — 116

Part 4 — 118



第 14 課

苦情を言う

Part 1 — 122

Part 2 — 123

Part 3 — 124

Part 4 — 127





第 15 課

就職のための面接試験

Part 1 — 131

Part 2 — 132

Part 3 — 134

Part 4 — 137

模擬試験 1 — 141

模擬試験 2 — 146

単語索引 — 150

第1課

郵便局で 小包を送る



Part 1

テープの会話を聞いて練習しましょう。そして後の質問に答えましょう。

人物: 陳明 局員

場所: 郵便局



陳明: すみません。急ぐ書類があるんですが、一番早いのは何でしょうか。

局員: どこまでですか。

陳明: 中国です。

局員: それなら、国際エクスプレスメールが一番早いです。

陳明: 何日かかりますか。

局員: そうですね。2、3日で届くでしょう。

陳明: じゃあ、それをお願いします。

局員: これは、専用封筒です。どうぞご記入ください。

陳明: (記入してから) はい、これでよろしいでしょうか。

局員: はい、結構です。今、計りますから……。えーっと、300グラムまで900円で、専用封筒は30円ですので、930円になります。

陳明: あのう、小包もここでいいですか。

局員: いいですよ。中身は何ですか。

陳明: 書籍です。

局員: 手紙は入っていませんね。

陳明: はい、本だけです。

局員: それも中国までですか。

陳明: はい。SAL 便でお願いしたいんですが。

局員: ちょっとこの箱じゃ弱いですね。ゆうパックの箱をお使いになったらどうですか。

陳明: じゃあ、お願いします。

局員: 5.3 キロです。5 キロから 5.5 キロまでは 4200 円です。さきほどの 930 円とゆうパックの箱代 50 円を入れまして 5180 円頂きます。

陳明: はい。

局員: 6000 円お預かりします。えーっと、820 円のおつりです。ありがとうございました。

陳明: よろしくお願いします。



問題 ▶▶

1. 急ぐ郵便物は何を利用すれば一番早く着きますか。
2. 小包で書籍などを郵送する時に中に入れてはいけないものは何ですか。
3. 陳さんは全部でいくら払いましたか。そのうち、SAL 便はいくらかかりましたか。
4. 中国から日本へ手紙を出す場合、アドレスや氏名などは封筒にどう書けばいいですか。

Part 2

会話の文を見ながら聞きましょう。そしてその後の質問に答えましょう。

(デマエと消費者 A・B 同僚の会話)



A: やあ、お帰りなさい。お久しぶりですね。

B: ええ、あまりご連絡もせず、すみませんでした。

A: いえいえ、こちらこそ。で、今回、アメリカには、何年いたんでしたっけ?

B: うーん、2 年ちょっとかな。

A: アメリカの生活はどうでしたか。

- B: 家は広いし、物価は安いし、本当に住みやすかったですよ。ただ、日本に帰ってくると、日本は便利な国だなあと実感しますね。
- A: そうですか。便利って何が便利なんですか。
- B: やっぱり、一人暮らしだと、出前とか配達サービスは有難いですね。
- A: 出前とか配達ってアメリカにはないんですか。
- B: いや、あるにはあるんですが、せいぜい新聞と牛乳くらいですね。
- A: そうなんですか。
- B: 日本じゃ、お寿司やラーメンのような食べ物はもちろん、お米、クリーニング、お酒、何でも電話1本で玄関まで届けてくれますからね。ほんと便利です。
- A: 私なんてずっと日本で暮らしているから、それが当たり前だと思ってましたよ。
- B: ええ、私もアメリカに行く前はそうでしたよ。ところが、向こうでは配達新聞と店で売っている新聞とでは値段が違うんですよ。
- A: 配達の方が高いんですか。
- B: ええ、そうなんです。まあ、人件費の分高くなると言われれば、確かにそうなんですが……。
- A: 日本でそんなことになったら、新聞を取る人が減るでしょうね。
- B: 出前や配達サービスは固定客を増やすためにあるんですからね。
- A: さあ、お昼にしましょう。今日は何にしましょうか。
- B: せっかくですから、出前でそばでもとりましょう。

(《新大学日语 阅读与写作3》第1課 本文「デマエと消費者」に基づく)



問題 ▶▶

1. 日本ではどのような物が、出前、配達してもらえますか。
2. 日本とアメリカでは、出前と配達サービスにどんな違いがありますか。
3. どうして日本では出前、配達サービスがこんなに広がったと思いますか。
4. 中国には出前や配達サービスがありますか。



Part 3

一、短い会話を聞いてその後の質問に答えましょう。答えは選択肢から適当なものを一つ選びましょう。



① [A] 夫婦の会話

[B] 親子の会話

[C] 友達同士の会話

[D] 兄弟の会話

② [A] 4人家族

[B] 5人家族

[C] 6人家族

[D] 7人家族

③ [A] 病院

[B] 花屋

[C] 洋服屋

[D] 床屋

④ [A] 先生の所へ行ってから帰ります。

[B] 男の人と一緒に帰ります。

[C] 一人で先に帰ります。

[D] 王さんが戻ってきたら一緒に帰ります。

⑤ [A] 痩せたいから。

[B] 朝寝坊するから。

[C] 病気だから。

[D] 忙しいから。